政策番号	9	政策分野	観光

基本方針	「5000万人観光都市」を実現した京都観光は，「量の確保」とあわせて，「質の向上」を図り，「旅の本質」を堪能できる世界で一番のまちをめざす。そのため，「観光スタイルの質」と「観光都市としての質」の向上に取り組む。 また，京都の都市特性を生かした世界に冠たる国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍をめざす。

担当局	産業観光局	共管局	

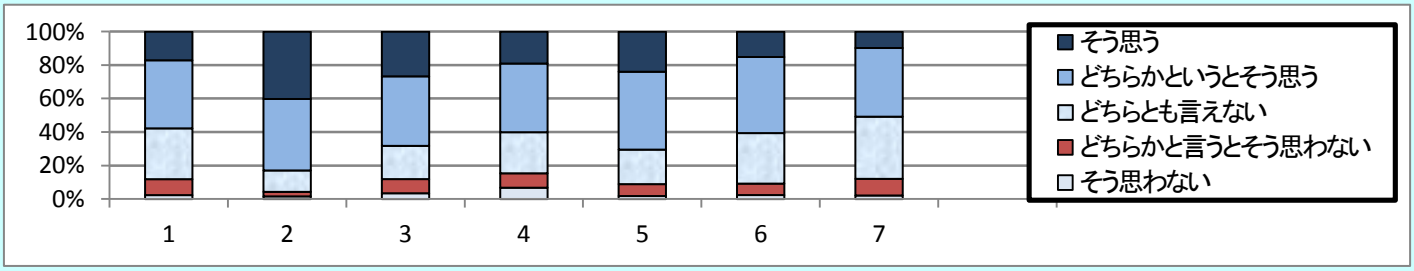
政策の評価

1　客観指標評価

	指標名	24年度評価値	32年度目標値	23年度	24年度	25年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	京都で感動した観光客の割合(%)	84.6	－	-	b	84.6	83.3	100.0%	83.3%	b
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価				c	b					b

2－1　市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		23年度	24年度	25年度
1	じっくり滞在し，ほんものとふれあい，歩いて楽しむ観光客が増えている。	b	b	b
2	京都は，観光客にとって質の高い観光都市である。	a	a	a
3	京都市民は，四季折々の京都観光を楽しんでいる。	a	b	b
4	京都は，市民にとってくらしやすい観光都市である。	b	b	b
5	京都市民は，観光客を温かく迎えるなど，京都観光の振興に協力的である。	a	b	a
6	子ども連れの家族や若者，ビジネス客など，新たな京都ファンが増えている。	b	b	b
7	京都は，国際会議などが盛んに開かれるMICE(企業のミーティング，企業研修旅行，国際会議，イベントなどの総称)都市になってきている。	b	b	b
8	-	-		
市民生活実感調査総合評価		a	b	a



2－2　政策の重要度（27政策における市民の重要度）

23年度		24年度		25年度	
順位	%	順位	%	順位	%
7	24.0%	9	22.8%	18	80.6%

3　総合評価

B	政策の目的がかなり達成されている		
【客観指標】・客観指標については，昨年度から減少したものの，「京都市観光に感動があった」と回答した割合が引き続き8割を超え，訪れたほとんどの観光客の方に感動を与えていると言えることから，b評価となった。 【市民の実感】・京都が観光客にとって質の高い都市であると高く評価されていることをはじめ，全ての設問がかなり肯定的に評価されていることから，観光都市，国際MICE都市としての魅力が市民にも浸透していることがうかがわれる。また，京都市民が京都観光を楽しんでいるか，観光振興に協力的かといった設問に対しては，かなり肯定的に評価されており，特に「京都市民は，観光客を温かく迎えるなど，京都観光の振興に協力的である」との問いは，評価が上がった。 【総括】・客観指標がb評価，市民生活実感がa評価となり，総じて取組に見合った実感を得た。 ・こうしたことを総合的に勘案し，この政策の目的はかなり達成されていると評価する。		24年度	B
		23年度	B

今後の方向性の検討

＜この政策を構成する施策とその総合評価＞

施策番号	施策名	評価結果			参照ページ
		23	24	25	
0901	観光スタイルの質の向上	B	B	B	117
0902	観光都市としての質の向上	A	A	A	119
0903	国際MICE都市～国際会議，企業研修旅行，イベント等による国際集客都市～への飛躍	B	B	B	121

＜今後の方向性＞

・観光スタイルや観光都市としての質の向上に向け，環境にやさしい歩く観光や滞在・宿泊型観光など京都の魅力を堪能していただける観光スタイルを追求するとともに，京都を訪れる観光客が施設情報や交通アクセスなどの必要な観光情報を入手しやすい環境整備や多様なニーズに対応する宿泊施設の充実など，快適な受入環境を整備する。また，京都観光の新たな主体として，市民が存在感を発揮する観光都市の実現を目指す。

・世界に冠たる国際MICE都市の実現に向け，MICE推進のための組織の統合・強化や，京都会館等の整備による岡崎地域の機能強化を図る。

・世界が共感する観光都市，「5000万人観光都市」から「量の確保」とあわせて「質の向上」を図る「5000万人感動都市」の実現に向け，旅の本質を追求する取組を推進する。

政策名	9	観光

指標名	京都で感動した観光客の割合（%）

担当部室	観光MICE推進室	連絡先	２２２－４１３０

１　指標の説明

京都で感動した観光客の割合

２　指標の意味

京都観光が目指す「量の確保」と「質の向上」に向けた進み具合を示す指標

３　算出方法・出典等

算出方法：感動があった人の割合（アンケート調査の「京都市観光に感動があったか」という問いに対して「あった」と答えた人の割合）
出典：京都観光総合調査

４　数値

10年後の（平成32年度）目標値	平成24年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	84.6	－	

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値		
	23年	24年		数値	根拠	達成度
数値	84.6	83.3	1.3%減	100.0%	観光客全員に感動していただくことを目標とする。	83.3%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	

５　評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

６　基準説明

当該指標については，民間部門の寄与度が比較的高く，景気動向にも影響を受けるものの，目標を上回ることは不可能ではないため，100%をａ，以下20%刻みで基準を設定した。

７　評価結果

23	24	25
-	b	b